

2015年2月13日

お問い合わせ先

ベインキャピタル広報担当：久世（くせ）

090-5432-6755／03-3536-2688

ベインキャピタル、「大江戸温泉物語」の全株式取得で合意

国際的プライベート・エクイティ投資会社である Bain Capital Partners, LLC（そのグループ会社を含め、以下「ベインキャピタル」）は、本日、温泉旅館チェーン「大江戸温泉物語」を運営する大江戸温泉ホールディングス株式会社（取締役社長 橋本浩）の全株式を橋本浩氏、キョウデンエリアネット、他1名から取得する株式売買契約に調印しました。

これはベインキャピタルが助言するファンドが管理・運営する株式会社 BCJ-18 が、大江戸温泉ホールディングスの全株式を取得するもので、株式売買日は3月中旬を予定しております。なお、取得額については公表しておりません。

大江戸温泉物語は、東京都お台場の大規模日帰り温泉「お台場大江戸温泉物語」をはじめ、全国に23の温泉旅館と6の温浴施設/テーマパークを展開し、年間約500万人のお客様が利用しています。売上高は2007年以降毎年30%成長を達成しており今期売上高350億円、従業員数3,000名を要する国内最大手の温泉旅館チェーンに成長をしております。

今回の全株式取得について、ベインキャピタルの杉本勇次日本代表兼マネージング・ディレクターは次のように述べています。

「大江戸温泉物語は、温泉旅館業界にチェーンオペレーションを導入し、お客様にお得感のある均一価格で安心感のある宿泊サービスを提供することで“温泉旅館のバリューセグメント”を開拓し、ユニークかつ大変強固な地位を築いていますが、更なる大きな成長ポテンシャルを秘めています。今後はベインキャピタルの日本・アジア・欧米におけるチェーンリテール及びサービス産業への投資、特にすかいらーく社への経営支援を通じて培った経験と実績を最大限に活かし、既存の経営陣の皆様と協働することで、観光立国を目指す日本のインバウンド需要の獲得も見すえた、顧客マーケティングの強化、全国各地への大江戸温泉旅館の新規出店加速、アジアを中心とした海外展開を通じた成長戦略を進めてまいります。」

ベインキャピタルは全世界で総額750億ドルを越える運用資産を持つ国際的投資会社であり、日本においては2006年に東京拠点を開設して以来、約30名のプロフェッショナルにより投資先の企業価値向上に向けた取り組みを進めています。

主に事業会社・コンサルティング会社での経験を有するプロフェッショナルを中心に構成されており、一般的な投資会社の提供する資本・財務的支援にとどまらず、事業運営を現場レベルで支援・着実に成長戦略を実行し数々の価値向上施策を成功に導いた実績を有しています。日本においてはすかいらーく、ジュピターショップチャンネル、ドミノピザ・ジャパン、ベルシステム 24 など 8 社に対して、そしてグローバルでは 1984 年の設立以来 300 社超に対する投資実績を有しています。

大江戸温泉ホールディングスについて

大江戸温泉物語 (<http://www.ooedoosen.jp/index.html>) は、江戸文化をモチーフにした大規模日帰り温泉「お台場大江戸温泉物語」をはじめ、全国に 23 の温泉旅館と 6 温浴施設・テーマパークを展開する大手温泉旅館チェーンです。温泉旅館にチェーンオペレーションを導入し、お客様に均一で安心感のあるサービスを一年通じてお得感のある宿泊料金で提供する“温泉旅館のバリューセグメント”を開拓し、年間の利用者は約 500 万人にのぼります。

ベインキャピタルについて

ベインキャピタル (<http://www.baincapital.com>) は、プライベート・エクティ、ベンチャーキャピタル、上場株やレバレッジローンなど、総額 750 億ドル以上に上る数種類のファンドを運用している世界最大級の投資会社です。ミット・ロムニーを中心としたメンバーによる 1984 年の創業以来、さまざまな業種にわたり、世界中で 300 社以上のプライベート・エクイティ投資等を行っており、事業会社・経営コンサルティング会社・投資銀行・弁護士など様々なバックグラウンドを持つ 300 名を超える専門家チームが企業への新規投資や既存投資先の経営支援に従事しています。ベインキャピタルは、本社をボストンに置き、東京、香港、上海、ムンバイ、ニューヨーク、シカゴ、ロンドン、ミュンヘン等に拠点を有しています。